

夜間の横断事故防止

上向きライト 使ってますか???

ライトをこまめに切り替え安全運転



【下向きライトでの照射範囲】
歩行者がよく確認できません



【上向きライトでの照射範囲】
歩行者がはっきり確認できます

上向きライトを上手に使うことで、危険を早く発見することが出来ます。
また、夜間は、ライトの届く範囲に応じた安全速度で運転しましょう。



他の車や歩行者などの交通の妨げとなる上向きライトの使用は、交通事故の原因となります。
前の車や対向車、歩行者を認識したときはライトを下向きにしてください。



福島県警察本部

夜間の横断事故防止

○ 平成21年中の交通事故発生状況

	発生件数			死者数		
		人対車両	横断中		人対車両	横断中
全事故	11,287	903	514	101	40	23
夜間	2,886	357	214	44	30	19
構成率	25.6	39.5	41.6	43.6	75.0	82.6

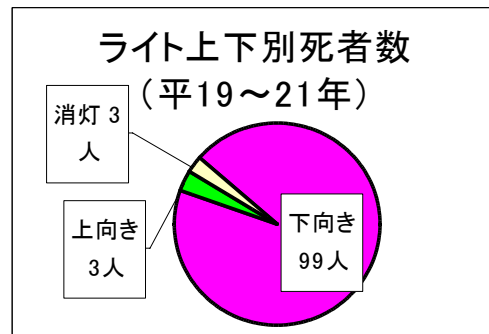
※ 夜間の人対車両の死亡事故30件(30人)のうち上向きライトを使用していたのは2件(2人)だけでした。

※ 夜間横断中の死亡事故19件(19人)全てが下向きライトであった。

○ 前照灯の照射範囲と停止距離の現状

前照灯照射範囲	
下向き	約40m
上向き	約100m
時速	停止距離
40キロ	22メートル
50キロ	33メートル
60キロ	44メートル

○ 過去3年間のライト上下別死者数



※ 60km/hで下向きライトで走行していた場合は、危険を発見しても間に合いません!

道路交通法では夜間は上向きライトが基本です!

道路交通法では、「車両等が、夜間、他の車両等と行き違う場合又は他の車両等の直後を進行する場合において、他の車両等の交通を妨げるおそれがあるときは、車両等の運転者は、政令で定めるところにより、灯火を消し、灯火の光度を減ずる(照射方向を下向きとすること)。等灯火を操作しなければならない。」と規定しており、対向車等がない時は、ライトは「上向き(走行用前照灯)での走行」が基本となっています。

ライトのこまめ切り替え運転による事故防止効果

- ★ 上向きライトを上手に使うことで、照射距離が伸びて危険を早く発見することが出来ます。
- ★ ライトを上向きや下向きに切り替えることで、ドライバーの緊張感が保たれて、漫然運転や居眠り運転を防止することにつながります。
- ★ 上向きライトで走行することで、脇道から進行してくる車や歩行者に自車の存在をいち早く知らせることが出来ます。